

## 会長挨拶

### 開催にあたって

中谷 俊彦

島根大学医学部緩和ケア講座

この度、日本ペインクリニック学会第3回中国・四国支部学術集会を開催させていただくことになりました。ひとえに関係各所皆様のご支援のおかげでございます。心より御礼申し上げます。

2020年1月下旬から日本各地に広がった新型コロナ禍により、同年5月に第30回中国四国ペインクリニック学会を予定していた私は、急遽開催を中止とする判断をせざるを得ませんでした。その時は、この災禍は夏には治まって通常の生活に戻れるものと考えておりました。しかし3年経過した現時点においても第8波に加えてインフルエンザの流行懸念もあり、現地開催ではなくWeb開催としたことで、皆様が楽しみにしていた直接対面できる学術集会へのご期待に添えられないことについてお詫び申し上げます。

学術集会のテーマは「あたたかみを考える」としました。ペインクリニックに関わる医療者が日々向き合っている、痛みで苦しむ患者さん・ご家族にとって必須なもの、それは人として関わる「あたたかみ」であると、臨床現場で常に意識してきたことを取り上げました。ペインクリニックの専門領域である熟練の神経ブロックがもたらす、じんわりと広がるあたたかみの効果を実感されている方も多いと存じます。「あたたかみ」のある医療・ケアを実践している皆様から学ぶことは、医療者として欠かせないことと判断し、この会で皆様に共有いただけたらありがたいと考えています。

特別講演は、獨協医科大学埼玉医療センター病院長の奥田泰久先生より「痛みの治療薬のリスクマネジメント」を、教育講演は東京慈恵会医科大学麻酔科学講座教授の倉田二郎先生より「あたたかいペイン・イメージング外来 (Warm-Hearted Pain-Imaging Clinic)」のタイトルでご講演をいただきます。お二人とも臨床・研究・教育の業績で著明であり、日々ご活躍なさっておられます。今後役に立つ貴重なご講演ですので、ぜひ皆様のご聴講をお願い申し上げます。一般演題はWebでのご発表として学会ホームページでご供覧いただけるようにいたします。多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。会長のご挨拶とさせていただきます。本学術集会をよろしく願い申し上げます。

令和5年1月吉日